

⑥ ソフト面を中心とした

防災対策の充実

平成24年度より実施してきたハード整備を中心とした防災対策は、平成29年度の本庁舎高台移転と佐賀保育所移転事業の完成により、一定の区切りをむかえた。これからはソフト事業を中心とした防災対策の充実が必要となっており、今まで以上に住民の皆様方と共同して取り組んでいく。

■都市防災総合推進事業

1億4754万円

■避難道等整備事業

7600万円

■防災拠点建築物耐震事業

1億3347万円

防災拠点となる土佐ユートピアカントリークラブの、耐震補強工事への補助。



土佐ユートピアカントリークラブ

地区防災計画を

継続強化へ

■自主防災組織育成支援補助金 403万円

Q 宮地 葉子議員

これは、自主防災組織を新たにつくるためのものなのか。それとも、今あるものの充実を図るものなのか。

今ある組織の充実であれば、その内容は。

A 徳廣 情報防災課長

毎年、自主防災組織10組織を予定して、地区で必要とする防災の資機材などを整備する予算。

■集会所耐震補強事業補助金 1387万円

Q 藤本 岩義議員

対象の集会所は。

A 矢野 地域住民課長

平成29年度に耐震診断と耐震設計を行った荷稻、中ノ川、伊与喜、熊井の4集会所の耐震補強工事への補助金。

また、昭和56年以降に建築した集会所の内、市野瀬、拳ノ川、川奥、不破原、市野々川団地の5集会所の耐震診断と耐震設計に要する補助金。

耐震補強工事
予定の4集会所

荷稻集会所



中ノ川集会所



伊与喜集会所



熊井集会所



■避難道等整備工事費

4千万円

Q 矢野 昭三議員

この工事の内容は。

A 徳廣 情報防災課長

避難道整備は、今年度、個所付けをしている避難道の分を計上している。

■避難所環境整備事業

800万円

A 宮川 総務課長

集会所の耐震診断委託と設計委託は、米原や伴太郎など、各地域の集会所等を7カ所予定。

■集会所施設耐震診断・設計委託料 358万円

Q 藤本 岩義議員

予定の集会所は。

⑦ 地域と共に生きる力を

はぐくむ教育の充実

次世代を担う子ども達が、豊かな人間性と高い能力を身につけるよう学校教育の充実を図る。また、ふるさとを愛し地域に貢献意識を持てる子ども達の育成を目指した新たな事業を6月議会にて肉付け予算で計上予定。

基礎学力の

向上を図る

■学校支援員配置事業

2097万円

小学校1518万円、

中学校579万円。

■放課後子ども教室推進事業 1445万円

